

2007年3月期  
中間決算説明会

---

株式会社ベネフィット・ワン  
東証二部(2412)

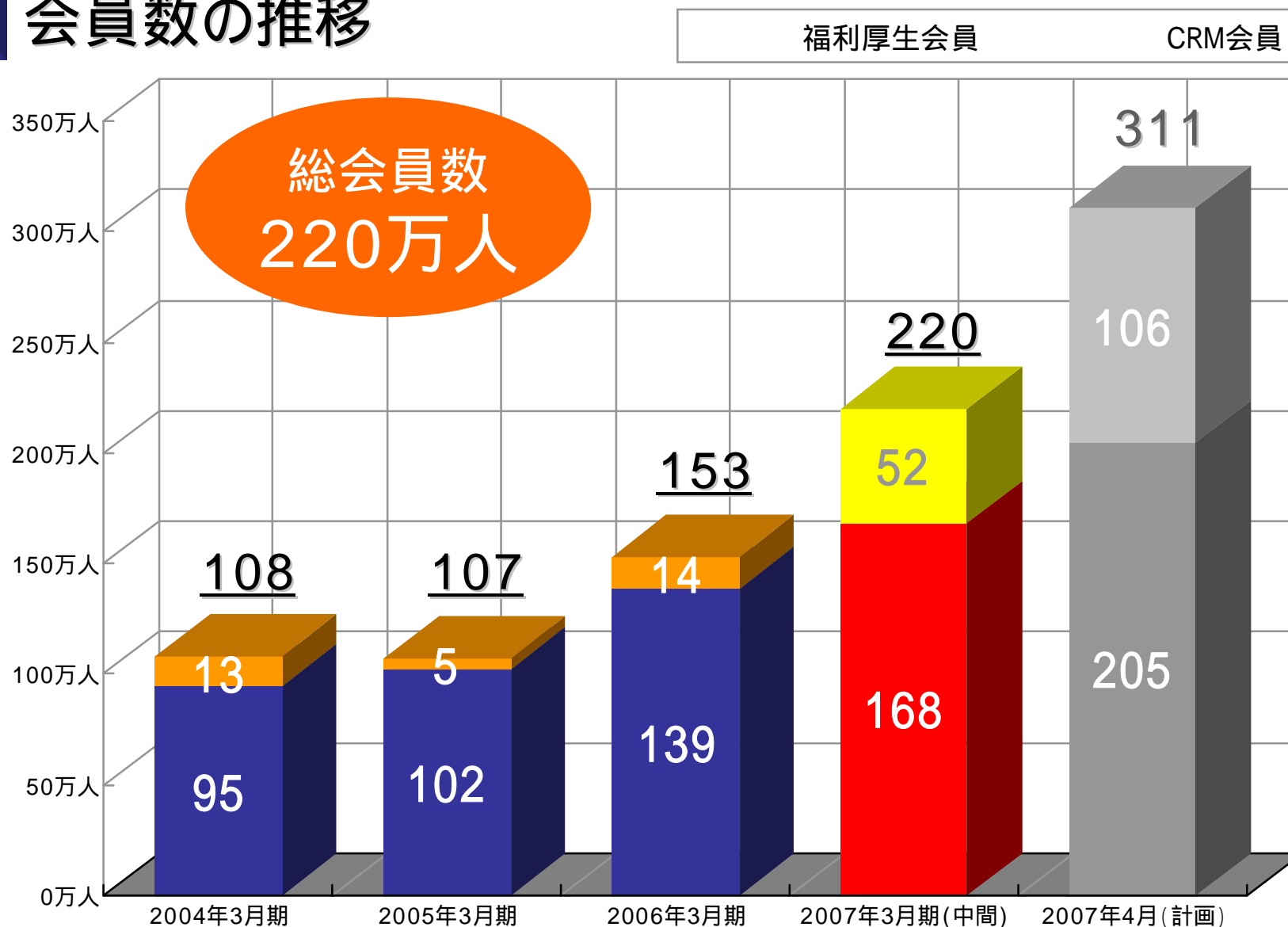
2006年11月10日

<http://www.benefit-one.co.jp/>

# 今期重点施策の進捗状況

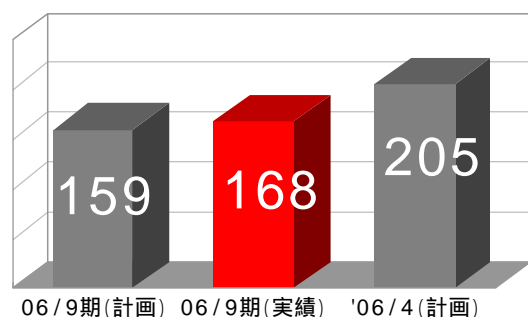
---

## 1 会員数の推移



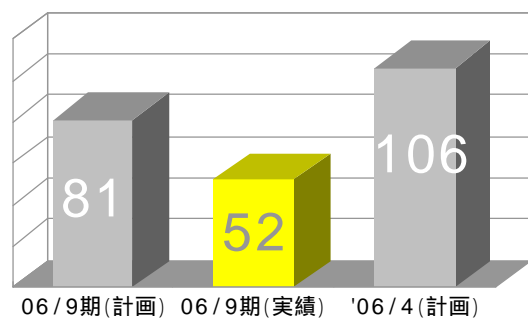
## 総会員数220万人(06/3比67万人増)

### 福利厚生会員数 168万人(同 29万人増)



福利厚生会員数は、計画に対しても9万人上回り、順調。特に公務マーケット(6.1万人獲得)、会員数1万人以上の民間大手企業(6社16万人獲得)、取次店経由(3.1万人純増)

### CRM会員数 52万人(同 38万人増)



主として、三井住友銀行との契約(『One's next クラブ』)により会員数大幅増であるが、計画の会員数81万人(純増69万人)には及ばず。女性向けプランの開始が、下期に遅延したのが主因。

## 2 コア事業(福利厚生)の拡大 ~ Work & Life Balance

- コストの削減から福利厚生の充実へ -

### 民間大企業からの受注強化

既往顧客を含むルートセールス

既往顧客との定期勉強会の実施、紹介依頼

特定ニーズに応えるリパッケージメニュー

ヘルシーカンパニープラン(健康、育児・介護・スポーツ)、

ファミリーフレンドリープラン(健康、育児・介護)などを開発

雇用促進策としての非常用雇用者への福利厚生ニーズ発掘

外食、テーマパークの非常用雇用、保険会社のセールスレディ - 向けの

福利厚生サービス提供

2007年4月スタートの  
受注が極めて順調！

## 公務マーケットに対する開拓

地方行政(市区町村を含む)単位での職員、教職員、加入が活発。  
上期で6.1万人を受注。引き続き好調が見込まれる。

## 代理店経由の中小企業開拓への一層の注力

メガバンク系シンクタンク、金融機関等の代理店経由での受注が好調。  
代理店経由で上半期3.1万人純増。  
7月にはYahoo!社との提携により『Yahoo!福利厚生』を開始したほか、  
9月にはオリックス社と取次販売の業務提携に合意。

## 3 新規事業の状況 ~ Work & Life Balance

### インセンティブ・カフェ

06年5月よりサービス開始。証券会社、派遣会社等3社(5.5万人)より受注。付与ポイントは上期で48百万円累積しており、今後の物販購入に期待。

### アニバーサリーステーション

06年3月よりサービス開始。日本赤十字社など、6社 6.4万人。

### ヘルシーカンパニーの提案

『コーポレート・ヘルスケア』（提供：子会社グローバルヘルスケア）  
改正・健康保険法に即応した健康支援サービス。（08/4～）

EAP（社員支援プログラム）

## 4 カスタマー・ロイヤリティー・プログラム

### 三井住友銀行との業務提携の円滑な遂行と取引の拡大

シニア向けプラン *‘One’s next クラブ 50’s’* は概ね順調に推移し、2006年4月のスタートにも関わらず、上期末で会員数40万人。

しかし、当初上期に数十万規模での開始を予定していた女性向けプラン *‘One’s next クラブ Woman’* が下期(6月 11月)にずれこんだことで会員数、売上は計画未達。

### 会員制ショッピング事業

会員数は微減でやや伸び悩み。

### 大口見込企業との新規取引推進

金融、通信等他事業との接触を開始。



5

## サービスコンテンツの差別化・拡充

### ニーズの高い分野の拡充 (Work & Life Balance)

#### すくすく倶楽部

子育てをする会員様に向けたコミュニティ倶楽部。既存の育児サービスへの利用補助だけでなく、参加者同士の情報交換会等付加サービスを提供。

#### 健康ステーション

「ココロとカラダの健康」をテーマにした生活習慣改善プログラム。

### レーティングボード

ご利用いただいた会員様に宿泊施設を評価いただくサービス。

会員様同士での情報共有による利用促進、今後のサービス向上に活用。

### ベネフィットバリュー・ポイント

会員様向け利用ポイントの利用促進。

## 6 インフラ整備(上期投資総額381百万円)

### システム開発(投資額:上期228百万円)

既存主要システム:57百万円

カスタマーセンター・WEB・メニュー管理等の主要システム開発は、機能の組み込みで当初上期稼働予定から、下期に完成・安定稼働へ

新規事業:172百万円

インセンティブ・カフェ(75百万円)

カスタマー・ロイヤリティー・プログラム(97百万円)

### その他投資(投資額:上期153百万円)

福利厚生関連設備投資

## 上期トピックス

### 1. グローバルヘルスケアを子会社化

06/7持株比率 20.0% 70.4%

### 2. エグゼキューブ株式会社と資本提携

06/8～9:持株35%(31百万円)を引受け、筆頭株主に。

体験型カタログギフト事業(旅行、ゴルフ、レストラン、物販)。

福利厚生、CRM、インセンティブ・カフェ、アニバーサリーステーション向けに  
カタログギフトを提供。カフェテリアプランの選択肢としても提供予定。

### 3. ヒューマン・キャピタル研究所

福利厚生、Work & Life Balance研究を目的に社内研究所を設立。

## 下期トピックス

### 1. 松山カスタマーセンター新設

愛媛県及び松山市の誘致企業として新設

2007年2月開設を目処に準備中

投資額は約140百万円を想定

【設立の目的】

2007年度ブース数150席250名予定

品質向上、雇用の安定性、オペレーションコストの低減

災害時のリスク分散

### 2. 拠点開設

新たに浜松支店、宇都宮支店を開設

# 2007年3月期 中間決算 概要

---

## 連結売上高は前期比852百万円増(21.0%)と大幅増収

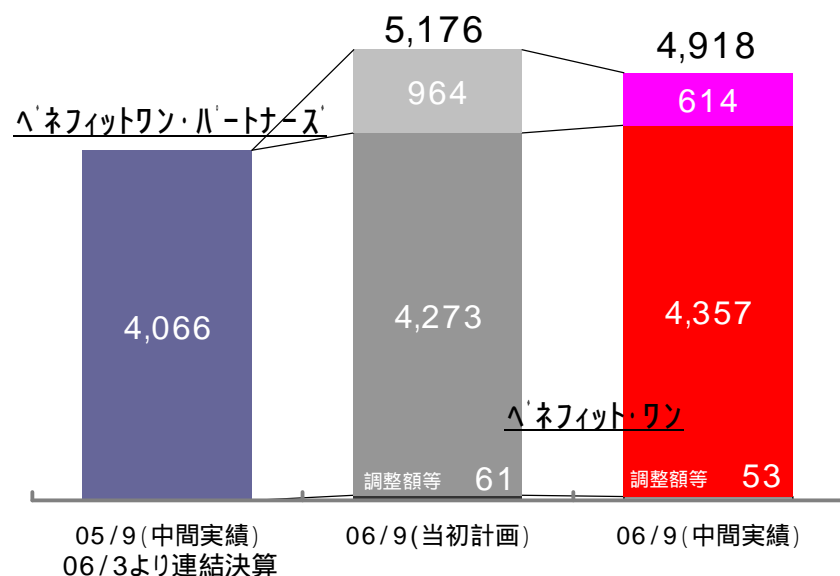
総売上は、物販売上を主因に当初計画比未達(同258百万円減)

福利厚生売上は、会員獲得好調で当初計画比増加(同123百万円増)

当社単体では、福利厚生収入の拡大で当初計画達成(同84百万円増)

### 売上高

個社別の売上高構成



科目別の売上高構成

(単位:百万円)	05/9 (中間実績)	06/9 (当初計画)	06/9 (中間実績)	前期比
会費収入	3,082	3,800	3,821	739
その他売上	631	633	735	104
福利厚生売上	3,713	4,433	4,556	843
BSショッピング	153	273	158	5
会員制ショッピング	199	470	203	4
物販売上	352	743	361	9
合計	4,066	5,176	4,918	852

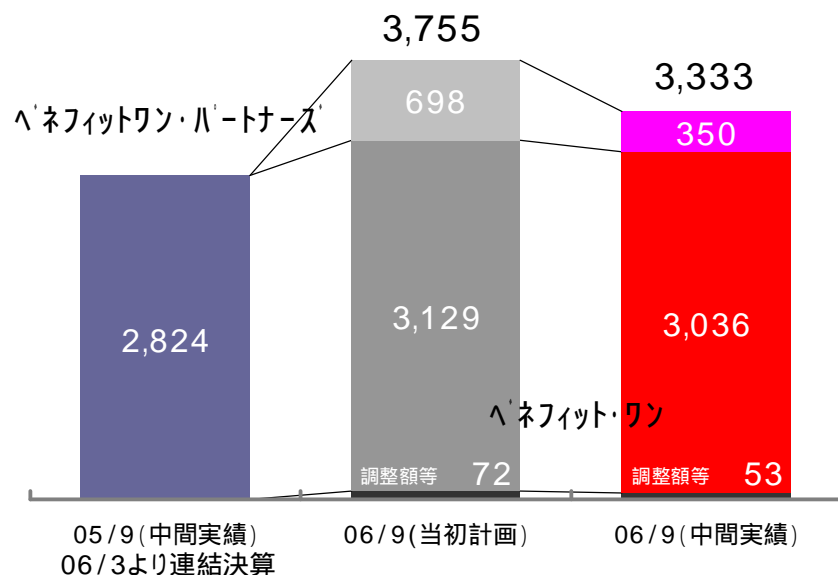
注) 当初計画とは、2006年5月11日に発表した数値。

売上原価は前期比509百万円増加(原価率1.7%減)

福利厚生仕入は、福利厚生売上増加に伴い当初計画比74百万円増  
 製造原価は、労務費の圧縮等で当初計画比188百万円減  
 原価率は、前中間期の69.5% 67.8%( 1.7%)

売上原価

個社別の売上原価構成



科目別の売上原価構成

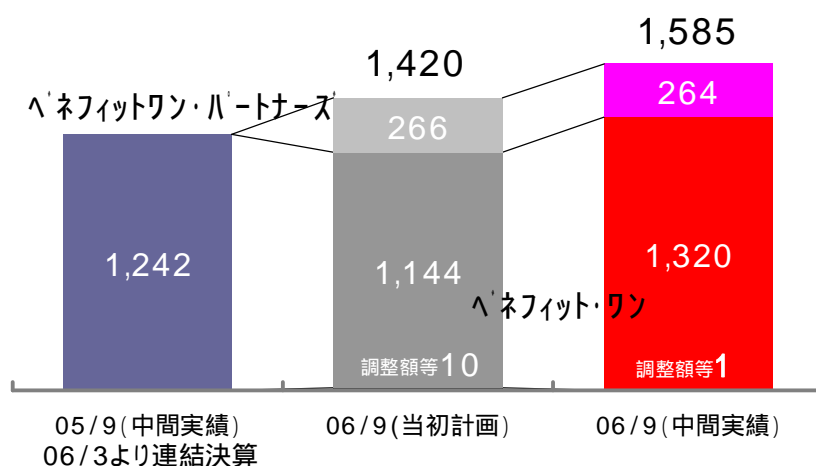
(単位:百万円)	05/9 (中間実績)	06/9 (当初計画)	06/9 (中間実績)	前期比
宿泊補助金	524	594	701	177
ガイドブック	616	687	683	67
福利厚生仕入	1,676	1,939	2,013	337
物販仕入	291	614	305	14
仕入原価	1,967	2,554	2,319	352
労務費	503	654	598	95
経費	354	547	415	60
製造原価	858	1,201	1,013	155
合計	2,824	3,755	3,333	509

## 売上総利益率(32.2%)は前期・当初計画比上昇

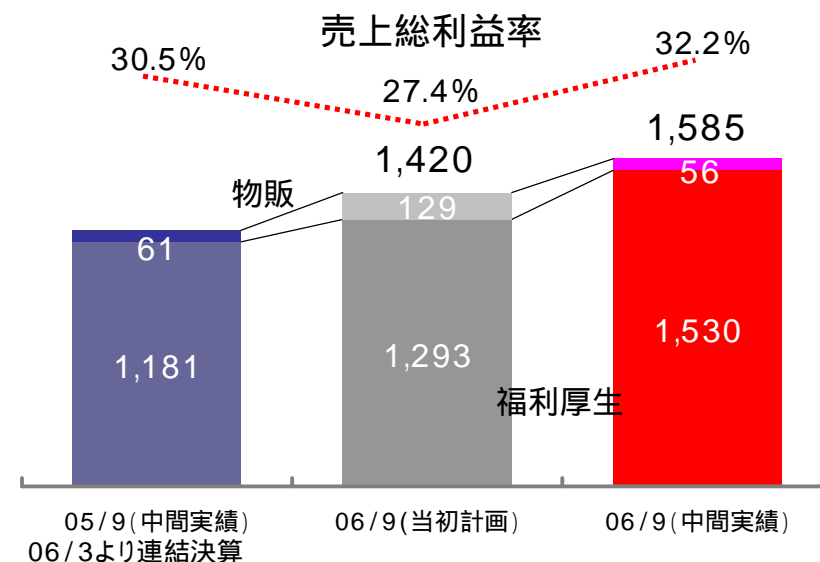
売上総利益は前期比343百万円増加、利益率32.2%を達成  
 福利厚生中心の当社単体は増益(当初計画比176百万円増)  
 ハネフィットワン・パートナーズは、減収にも拘らず概ね計画粗利維持

### 売上総利益

個社別の売上総利益構成



科目別の売上総利益構成





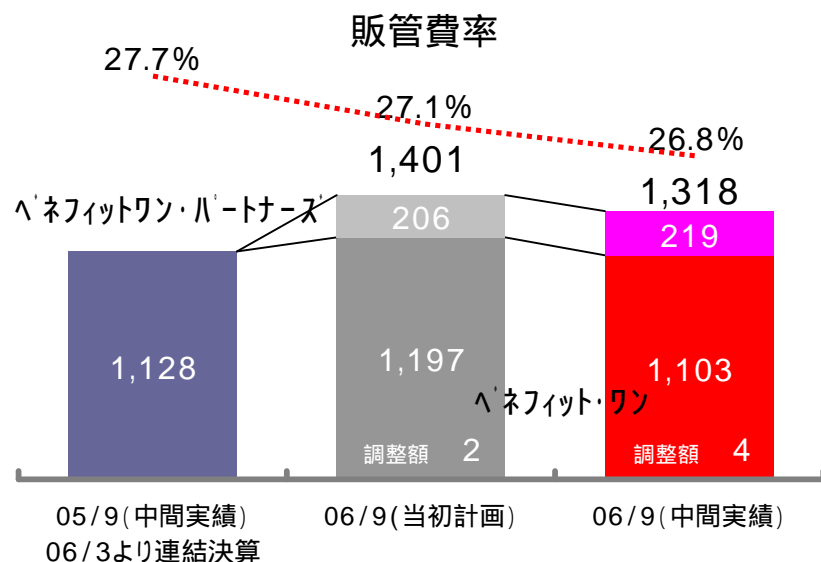
# 販管費率(26.8%)は前期・当初計画比大幅に低下

販管費は当初計画比では、83百万円削減

販管費率は当初計画比0.3%、前期比0.9%それぞれ低下

## 販管費

個社別の販管費構成



科目別の販管費構成

	05/9 (中間実績)	06/9 (当初計画)	06/9 (中間実績)	前期比
人件費	494	577	548	54
一般経費	634	824	770	136
<b>合計</b>	<b>1,128</b>	<b>1,401</b>	<b>1,318</b>	<b>190</b>

# 2007年3月期 中間決算 概要 (営業・経常・中間純利益)

## 営業利益は大幅に好転

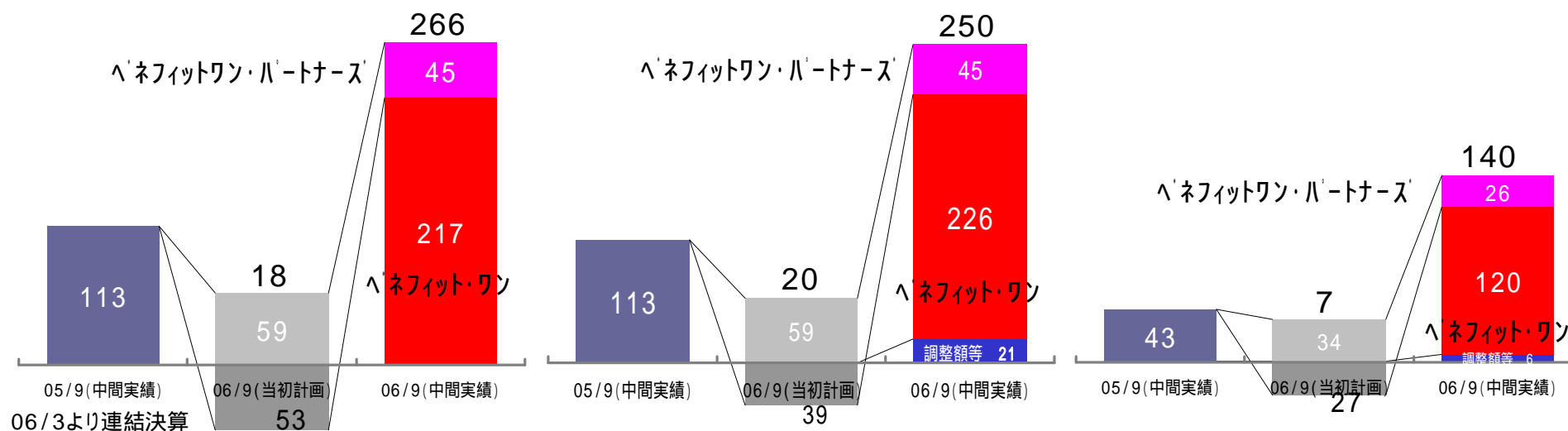
利益率の高い福利厚生収入の増加および販管費等のコスト管理徹底により営業増益(前期比153百万円)

当初計画比でも営業利益、経常利益共に増益

### 営業利益

### 経常利益

### 中間純利益



設備投資の実績・見込

	2007年3月期		合計
	上期実績	下期見込	
情報システム(ハード/ソフト)	228	219	447
松山CC他スペース工事	10	140	150
福利厚生関連設備投資	143	118	261
合計	381	477	858

# 2007年3月期 中間決算 概要 (財政状況・財務指標)

## 財政状況

	05/9(中)	06/3	06/9(中)	増減
総資産	4,756	6,839	6,167	671
流動資産	2,551	4,092	3,101	990
固定資産	2,204	2,747	3,065	+ 318
自己資本	3,541	4,609	4,564	45
自己資本比率	74.5	67.4	74.0	+ 6.6

現預金: 983  
 売掛金: + 186  
 前払費用: 147

有形固定資産: + 127  
 無形固定資産: + 217

## 財務指標

		05/9(中)	06/3	06/9(中)
売上総利益率	%	30.5	38.3	32.2
営業利益率	%	2.8	11.7	5.4
総資産純利益率 (ROA)	%	2.1	7.9	2.3
自己資本利益率 (ROE)	%	2.7	11.8	3.1
一株あたり純利益 (注)	円	210.86	2,595.97	662.93
一株あたり純資産 (注)	円	17,229.49	21,776.56	21,531.32

(注)

平成18年4月1日に1:4  
 の株式分割を実施。  
 数値は遡及修正値

# 下期課題と業績見通し

---

## 1 下期の課題

### ベネフィット・ワン

福利厚生事業の順調な拡充（07/4福利厚生会員数205万人）

新規事業の推進

インセンティブ・カフェ

アニバーサリーステーション

プレスステージゴールド

## ベネフィットワン・パートナーズ

主要顧客へのアプローチ強化 (07/4会員数106万人)

『One's next クラブ WOMAN』(女性向けプラン)の立ち上げ

大口見込企業との新規取引先開始

通年売上高1,508百万円(当初計画比905百万円減)、  
経常利益133百万円(同146百万円減)へ修正

## その他関連会社 (グローバルヘルスケア、スピークライン、NARP、エグゼキューブ)

グローバルヘルスケア

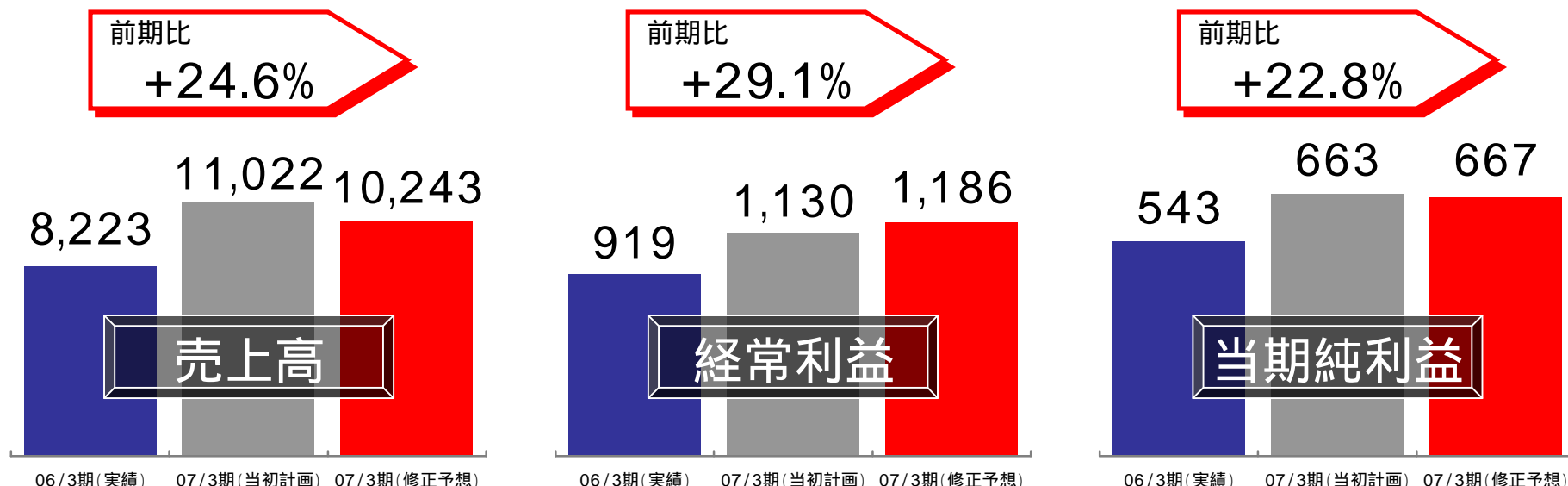
本年の健康保険法改正の流れを受けて、営業基盤を確立

その他関係会社

黒字化する為の事業基盤拡充

2 連結業績見通し

福利厚生事業の好調により、増益



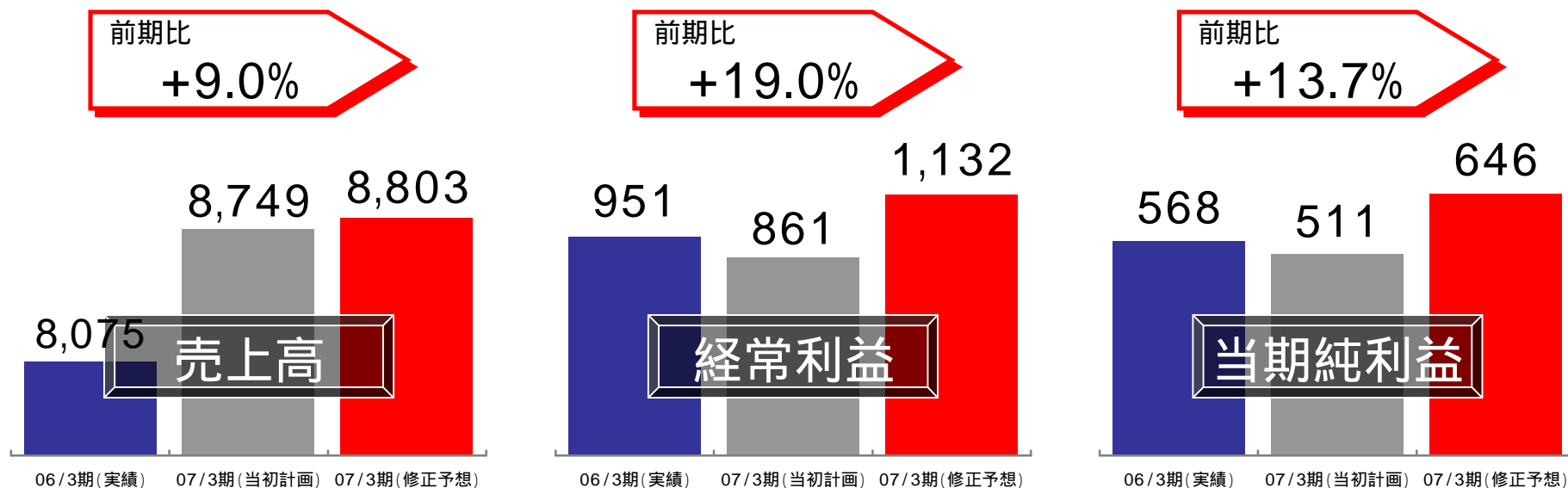
(単位:百万円)	06/3期(実績)	07/3期(当初計画)	07/3期(修正予想)	前期比
売上高	8,223	11,022	10,243	24.6%
営業利益	967	1,159	1,194	23.5%
経常利益	919	1,130	1,186	29.1%
当期純利益	543	663	667	22.8%

注)修正予想とは、2006年11月9日に発表した数値。



3 個別業績見通し(ベネフィット・ワン単体)

福利厚生事業の好調で売上・利益ともに上方修正



(単位:百万円)	06/3期(実績)	07/3期(当初計画)	07/3期(修正予想)	前期比
売上高	8,075	8,749	8,803	9.0%
営業利益	969	855	1,066	10.0%
経常利益	951	861	1,132	19.0%
当期純利益	568	511	646	13.7%

## 4 連結売上高推移

(単位:百万円)

	2006年3月期 (実績)	2007年3月期 (当初計画)	2007年3月期 (修正予想)	前年比	当初計画比
	a	b	c	c-a	c-b
福利厚生会費	5,849	6,605	7,003	+1,154	+ 398
プレステージ・ゴールド	31	234	92	+ 61	-142
カスタマー・ロイヤリティ・プログラム	429	1,189	833	+ 404	-356
会費売上高小計	6,310	8,049	7,978	+ 1,668	-71
直営施設売上	463	461	457	-6	-4
送客・掲載手数料他手数料	314	358	417	+ 103	+ 59
その他売上高小計	1,061	1,092	1,286	+ 225	+ 194
福利厚生売上高 ( + )	7,371	9,142	9,265	+ 1,894	+ 123
ハネフィット・ステーション物販	378	670	404	+ 26	-266
会員制ショッピング	473	1,210	574	+ 101	-636
物販売上高合計	852	1,880	978	+ 126	-902
売上合計 ( + )	8,223	11,022	10,243	+ 2,020	-779

# 「良い物を より安く より便利に」

株式会社ベネフィット・ワンは、福利厚生サービスを通して  
人々に感動と喜びを提供してまいります。

---

## IR担当窓口 経営管理部

Tel: 03-4360-3159 Mail: [ir\\_inquiry@benefit-one.co.jp](mailto:ir_inquiry@benefit-one.co.jp) URL: <http://www.benefit-one.co.jp/>

本資料は、2006年度中間決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は、2006年9月末時点のデータに基づいて作成されております。従いまして本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断によるものであり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。